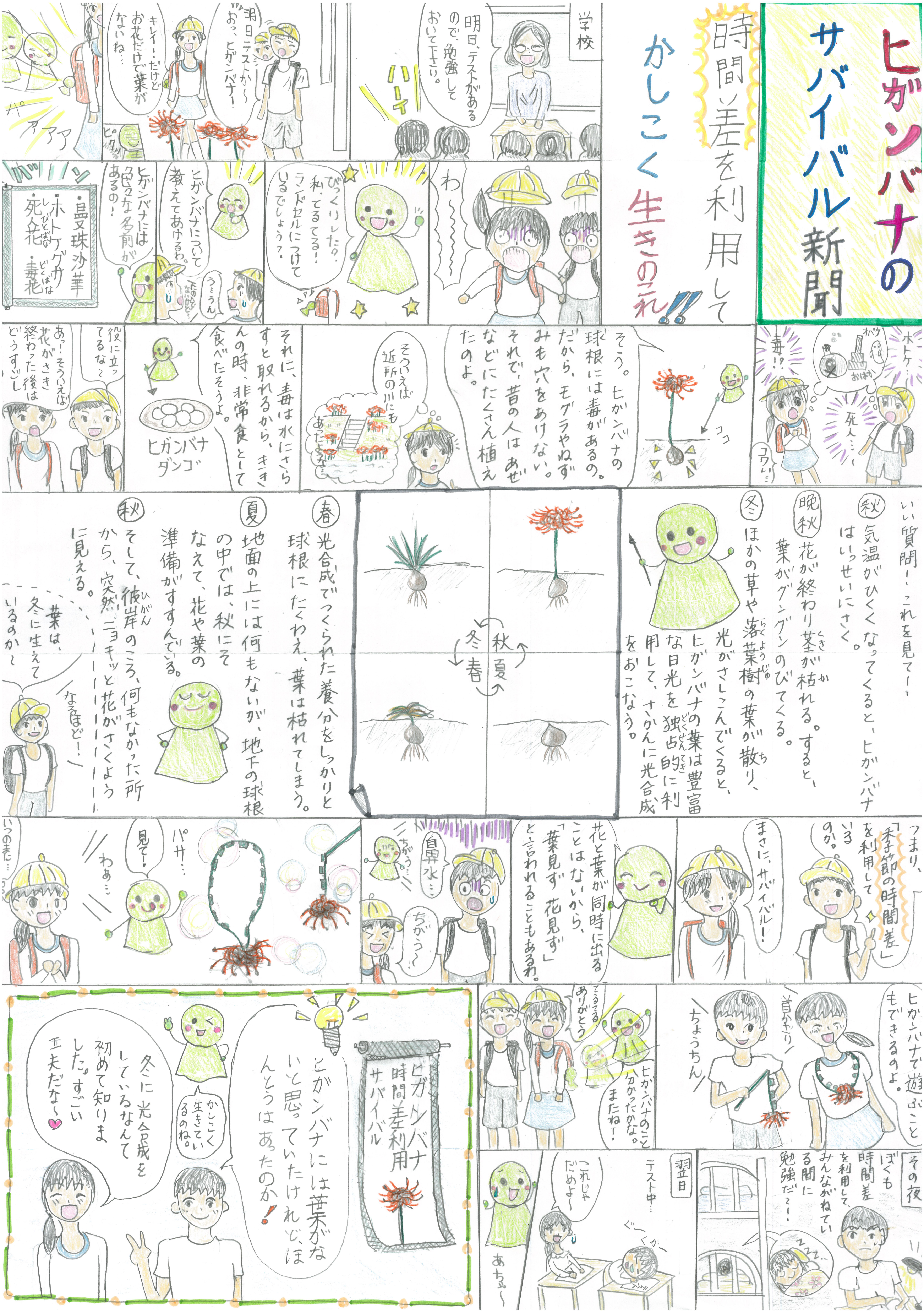
ヒガンバナのサバイバル新聞

時間差を利用してかしこく生きのこれ!!


学校
明日、テストがあるので、勉強しておいて下さい。
ハーイ
明日テストか〜 おっ、ヒガンバナ!
キレイ!・だけどお花だけで葉がないね…
ピクッ
パァアアア
わ〜〜〜〜
びっくりした?私、てるてる!ランドセルにつけているでしょう?
ヒガンバナについて教えてあげるわ。
ううん
ヒガンバナには色々な名前があるの!
ガーン
・曼珠沙華 ・ホトケグサ 死人花（しびとばな）・毒花（どくばな）
ホトケ…
オバケ
おはか
毒!?
死人…
コワい…
ココ
そう。ヒガンバナの球根には毒があるの。だから、モグラやねずみも穴をあけない。それで、昔の人はあぜなどにたくさん植えたのよ。
そういえば近所の川にもあったような…
それに、毒は水にさらすと取れるから、ききんの時、非常食として食べたそうよ。
ヒガンバナダンゴ
役に立ってるな〜
あっ!そういえば花がさき終わった後はどうすごし
いい質問!これを見て!
(秋) 気温がひくくなってくると、ヒガンバナはいっせいにさく。
(晩秋) 花が終わり茎（くき）が枯（か）れる。すると、葉がグングンのびてくる。
(冬) ほかの草や落葉樹（らくようじゅ）の葉が散（ち）り、光がさしこんでくると、ヒガンバナの葉は豊富な日光を独占的（どくせんてき）に利用して、さかんに光合成をおこなう。
秋
夏
冬
春
(春) 光合成でつくられた養分をしっかりと球根にたくわえ、葉は枯れてしまう。
(夏) 地面の上には何もないが、地下の球根の中では、秋にそなえて、花や葉の準備がすすんでいる。
(秋) そして、彼岸（ひがん）のころ、何もなかった所から、突然ニョキッと花がさくように見える。
葉は、冬に生えているのか〜
なるほど!
つまり、「季節の時間差」を利用しているのか。
まさに、サバイバル!
花と葉が同時に出ることはないから、「葉見ず 花見ず」と言われることもあるわ。
鼻水…
ちがう…
ちがう〜
パサ…
見て!
わぁ…
いつのまに…
ヒガンバナで遊ぶこともできるのよ。
首かざり
ちょうちん
ありがとうてるてる
ヒガンバナのことわかったかな。またね!
その夜
ぼくも時間差を利用して、みんながねている間に勉強だ〜!
ZZZ…
翌日
テスト中…
ぐ〜 ぐか〜
これじゃだめよ〜
あちゃ〜
ヒガンバナ 時間差利用 サバイバル
ヒガンバナには葉がないと思っていたけれど、ほんとうはあったのか!
かしこく生きているのね。
冬に光合成をしているなんて初めて知りました。すごい工夫だな〜♥